



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月4日

上場会社名 株式会社アドヴァン 上場取引所 東
 コード番号 7463 URL http://www.advanced.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山形 雅之助
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部 (氏名) 佐藤 香 TEL 03-3475-0394
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,307	13.0	4,518	31.9	4,136	△10.2	2,685	△4.1
27年3月期第3四半期	12,666	4.5	3,425	18.7	4,606	44.0	2,799	36.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,163百万円 (△45.3%) 27年3月期第3四半期 3,955百万円 (20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	67.55	—
27年3月期第3四半期	69.51	—

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	38,498	30,980	80.5	780.66
27年3月期	39,282	29,719	75.7	744.75

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 30,980百万円 27年3月期 29,719百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純資産は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	11.7	6,000	27.9	5,660	0.0	3,500	3.9	88.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	53,812,692株	27年3月期	53,812,692株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	14,127,160株	27年3月期	13,907,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	39,749,342株	27年3月期3Q	40,270,368株

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、発行済株式数は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、個人消費は底堅い動きを見せるなか、中国をはじめ新興国の経済減速のリスクはあるものの、企業の設備投資の持ち直しを背景に、7-9月の実質GDP改定値が上方修正されるなど、景気は緩やかな回復基調が続いています。

建設業界におきましては、住宅着工は前期に比べ持ち直しをみせており、投資マインドの改善による民間工事の発注が堅調に推移していることによって、建設会社各社の業績予想も大幅に増額修正されるなど明るい材料もみられました。また、オリンピックに向けたインフラ整備など建設市場は拡大しております。

このようななか、当社グループは引き続きファブレスメーカーとしての特性を活かした新規商品の開発・販売を推し進め、顧客基盤の拡大・拡充を図るなど売上の伸長に注力するとともに効率経営に努め収益向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高14,307百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は4,518百万円（同31.9%増）となりました。デリバティブ評価損益は洗い替えにより540百万円の評価損を計上し、また売電収入81百万円を計上した結果、経常利益は4,136百万円（同10.2%減）、四半期純利益は2,685百万円（同4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債の増減

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は前連結会計年度末に比べ783百万円減の38,498百万円となり、また、負債総額は前連結会計年度末に比べ2,044百万円減の7,518百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増の30,980百万円となり、この結果、自己資本比率は80.5%となりました。

②連結キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ98百万円増の3,752百万円となりました。なお、当四半期連結会計期間における連結キャッシュフローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益は4,136百万円となりましたが、法人税の支払いなどにより、営業活動により得られた資金は1,898百万円（前年同四半期は1,056百万円の収入）となりました。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は331百万円（前年同四半期は1,863百万円の支出）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,036百万円などによるものです。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、1,511百万円（前年同四半期は1,296百万円の支出）となりました。その主な内訳は、長期借入金の返済が1,190百万円、配当金の支払い716百万円などがあります。このほか借入により630百万円の資金調達を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、建設業界の堅調な需要環境を背景に当社グループは新規商品の開発・販売の推進、顧客基盤の拡大・拡充の結果、当連結会計年度の売上高は19,500百万円（前期比2,050百万円増）となる見込みです。また、利益面では売上の増加と業務の合理化の成果により、営業利益は6,000百万円（前期比1,309百万円増）となる見込みです。

当初の業績予想数値を大幅に上回ることが見込まれるため、当連結累計期間（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の業績予想数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年1月4日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,653,621	3,752,284
受取手形及び売掛金	4,444,670	4,358,080
商品	2,865,775	3,743,809
仕掛品	3,410	—
その他	2,113,274	1,899,777
貸倒引当金	△7,379	△1,930
流動資産合計	13,073,373	13,752,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,930,272	6,748,408
土地	12,770,410	12,912,861
その他（純額）	595,709	1,156,496
有形固定資産合計	20,296,392	20,817,766
無形固定資産	616,975	167,766
投資その他の資産		
投資有価証券	457,749	168,469
為替予約	4,216,661	2,924,119
その他	608,088	659,299
投資その他の資産合計	5,282,500	3,751,889
固定資産合計	26,195,868	24,737,422
繰延資産		
社債発行費	12,773	9,439
繰延資産合計	12,773	9,439
資産合計	39,282,015	38,498,884
負債の部		
流動負債		
買掛金	466,877	380,938
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,481,204	1,684,604
未払法人税等	1,506,970	505,587
賞与引当金	126,000	50,000
その他	1,045,246	1,058,526
流動負債合計	4,726,298	3,779,656
固定負債		
社債	1,300,000	1,250,000
長期借入金	2,448,541	1,684,452
役員退職慰労引当金	33,941	33,941
その他	1,053,994	770,067
固定負債合計	4,836,476	3,738,461
負債合計	9,562,775	7,518,117

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,500,000	12,500,000
資本剰余金	2,230,972	2,230,972
利益剰余金	17,884,747	19,851,584
自己株式	△5,959,360	△6,142,872
株主資本合計	26,656,359	28,439,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	514	19,518
繰延ヘッジ損益	3,062,365	2,521,562
その他の包括利益累計額合計	3,062,879	2,541,081
純資産合計	29,719,239	30,980,766
負債純資産合計	39,282,015	38,498,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,666,425	14,307,221
売上原価	6,350,789	6,892,246
売上総利益	6,315,636	7,414,975
販売費及び一般管理費	2,890,290	2,896,149
営業利益	3,425,345	4,518,826
営業外収益		
受取配当金	8,805	9,548
売電収入	90,737	81,578
デリバティブ評価益	1,081,337	—
その他	170,075	154,986
営業外収益合計	1,350,955	246,113
営業外費用		
支払利息	38,262	31,364
デリバティブ評価損	—	540,919
その他	131,549	55,961
営業外費用合計	169,811	628,244
経常利益	4,606,489	4,136,695
特別利益		
固定資産売却益	3,827	49
投資有価証券売却益	—	22,967
特別利益合計	3,827	23,016
特別損失		
固定資産処分損	28,527	16,067
投資有価証券売却損	43,823	7,225
特別損失合計	72,351	23,292
税金等調整前四半期純利益	4,537,966	4,136,419
法人税、住民税及び事業税	1,731,775	1,377,870
法人税等調整額	6,964	73,419
法人税等合計	1,738,740	1,451,290
四半期純利益	2,799,225	2,685,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,799,225	2,685,129

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	2,799,225	2,685,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,117	19,004
繰延ヘッジ損益	1,112,479	△540,802
その他の包括利益合計	1,156,597	△521,798
四半期包括利益	3,955,822	2,163,331
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,955,822	2,163,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,537,966	4,136,419
減価償却費	463,195	489,073
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,579	△76,000
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	△3,500
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,902	△5,448
受取利息及び受取配当金	△10,670	△10,126
支払利息	38,262	31,364
自己株式取得費用	100	641
社債発行費償却	3,333	3,333
為替差損益（△は益）	29,447	△42,581
デリバティブ評価損益（△は益）	△1,081,337	540,919
固定資産売却損益（△は益）	△3,827	6,967
固定資産処分損益（△は益）	28,527	9,049
投資有価証券売却損益（△は益）	43,823	△15,741
売上債権の増減額（△は増加）	△143,803	86,589
たな卸資産の増減額（△は増加）	△606,106	△881,696
仕入債務の増減額（△は減少）	△109,851	△51,556
その他	△58,366	70,359
小計	3,125,211	4,288,067
利息及び配当金の受取額	10,670	10,126
利息の支払額	△34,422	△28,349
法人税等の支払額	△2,045,212	△2,371,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,056,247	1,898,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	39,800	—
有形固定資産の取得による支出	△1,849,453	△1,036,335
無形固定資産の取得による支出	△96,643	△1,101
投資有価証券の取得による支出	△336,911	△5,855
投資有価証券の売却による収入	336,594	338,723
ソフトウェア開発費の返金による収入	—	414,550
その他	43,512	△41,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,863,101	△331,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	900,000	630,000
長期借入金の返済による支出	△1,317,809	△1,190,689
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△103,167	△184,153
配当金の支払額	△725,574	△716,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,296,551	△1,511,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,607	43,793
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,134,012	98,663
現金及び現金同等物の期首残高	5,087,852	3,653,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,953,839	3,752,284

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	建材関連事業	不動産賃貸事 業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,920,353	16,128	729,944	12,666,425	—	12,666,425
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17,255	1,061,169	309,111	1,387,535	△1,387,535	—
計	11,937,608	1,077,297	1,039,055	14,053,960	△1,387,535	12,666,425
セグメント利益	3,755,856	639,518	179,824	4,575,200	△1,149,854	3,425,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,149,854千円には、セグメント間取引消去△38,960千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,110,894千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	建材関連事業	不動産賃貸事 業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,671,790	15,866	619,564	14,307,221	—	14,307,221
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,172,633	318,546	1,491,179	△1,491,179	—
計	13,671,790	1,188,499	938,111	15,798,401	△1,491,179	14,307,221
セグメント利益	4,835,122	728,387	172,755	5,736,265	△1,217,438	4,518,826

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,217,438千円には、セグメント間取引消去12,963千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,230,402千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。